

MAT-8145US

PATENT

#17

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Applicant: K. Kurokawa : Art Unit: 2614
Serial No.: 09/899,350 : Examiner:
Filed: July 5, 2001 : Box Missing Parts
FOR: APPARATUS FOR :
PROVIDING
PROGRAMMING

CLAIM TO RIGHT OF PRIORITY

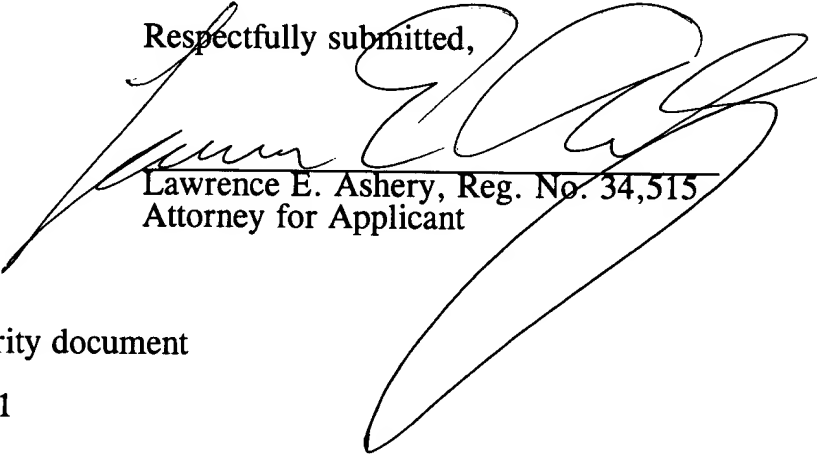
Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

S I R :

Pursuant to 35 U.S.C. 119, Applicant's claim to the benefit of filing of prior Japanese Patent Application No. 2000-201712, filed July 4, 2000, is hereby confirmed.

A certified copy of the above-referenced application is enclosed.

Respectfully submitted,


Lawrence E. Ashery, Reg. No. 34,515
Attorney for Applicant

LEA/dlm

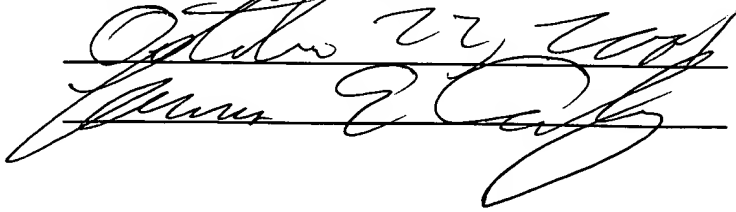
Encl.: (1) certified priority document

Dated: October 22, 2001

Suite 301, One Westlakes, Berwyn
P.O. Box 980
Valley Forge, PA 19482
(610) 407-0700

The Assistant Commissioner for Patents is hereby authorized to charge payment to Deposit Account No. 18-0350 of any fees associated with this communication.

I hereby certify that this correspondence is being deposited with the United States Postal Service as first class mail, with sufficient postage, in an envelope addressed to: Assistant Commissioner for Patents, Washington, DC 20231 on:


October 22, 2001



日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

Mat-8/4503
09/29/50

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日
Date of Application:

2000年 7月 4日

出 願 番 号
Application Number:

特願2000-201712

出 願 人
Applicant(s):

松下電器産業株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 6月15日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-305647

【書類名】 特許願

【整理番号】 2892020154

【提出日】 平成12年 7月 4日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04N 5/64

【発明者】

【住所又は居所】 香川県高松市古新町 8 番地の 1 松下寿電子工業株式会
社内

【氏名】 黒川 光也

【特許出願人】

【識別番号】 000005821

【氏名又は名称】 松下電器産業株式会社

【代理人】

【識別番号】 100081813

【弁理士】

【氏名又は名称】 早瀬 憲一

【電話番号】 06(6380)5822

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 013527

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9600402

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 画像を表示する液晶表示画面を有する表示装置と、
テレビジョン受信機とビデオテープレコーダとの操作をする操作釦と、所望の
ビデオテープを挿入するビデオテープ挿入部とを有する装置本体とを備え、
前記表示装置と前記装置本体とは分離している、
ことを特徴とするビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機。

【請求項 2】 請求項 1 に記載のビデオテープレコーダ付きテレビジョン受
信機において、

前記表示装置は、画像を表示する液晶表示画面と、該液晶表示画面に対して可
動であり、所定の箇所を挟んで固定することができるクリップ状の挟止部とを有
し、

前記装置本体は、テレビジョン受信機とビデオテープレコーダとの操作をする
操作釦と、所望のビデオテープを挿入するビデオテープ挿入部と、所定の箇所に
掛けて固定することができる L 字状の掛止部とを有する、

ことを特徴とするビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機。

【請求項 3】 請求項 2 に記載のビデオテープレコーダ付きテレビジョン受
信機において、

前記挟止部は、前記液晶表示画面に対して垂直に近い角度とすることでスタン
ドとして使用することができるものである、

ことを特徴とするビデオテープ付きテレビジョン受信機。

【請求項 4】 請求項 3 に記載のビデオテープレコーダ付きテレビジョン受
信機において、

所定の箇所に掛けて固定することができる L 字状の掛止部を有する指向性スピ
ーカを備える、

ことを特徴とするビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、画像を楽しむことができるビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機に関する。

【0002】

【従来の技術】

病院で入院生活をする場合には、生活はほとんどがベッドの上で行われることになる。ベッドに寝た状態で楽しめる娯楽として、テレビジョン受信機がある。テレビジョン受信機の設置方法としては、ベッドに簡易型の机を備え付け、その上に設置したり、ベッドの横に備えてある台の上に設置するのが普通である。また、個室であれば問題がないが、相部屋の場合には、音が漏れて、同室の人に迷惑がかかるため、イヤホンを用いて音声を楽しむ必要がある。また、最近ではテレビジョン受信機とビデオテープレコーダが一体となった、テレビジョン受信機とほぼ同等の大きさのテレビデオと呼ばれるビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機が普及しているので、テレビジョン受信機の代わりにこのテレビデオを設置することにより病室でテレビ放送だけではなくビデオも楽しめるようになっている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、これらテレビジョン受信機またはテレビデオを病室に設置するには、前記机や、前記台が必要になり、その上場所をとるという問題がある。また、操作者が、寝たまま操作ができるように、電源やチャンネル等の操作鈕はできるだけ操作者の近くの操作しやすい位置にある方がよいが、表示画面はある程度の距離離れていないと画像を見にくいという問題がある。また、離れた位置であってもリモコンで操作するという方法があるが、そうすれば今度は、リモコンの設置場所を確保する必要がでてくる。また、長時間イヤホンをつけていると耳が痛くなるという問題があった。

【0004】

本発明は上記問題に鑑みてなされたものであり、場所を取らずに、病室のベッドなどに容易に取り付けることができ、操作性がよいビデオテープレコーダ付き

テレビジョン受信機を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、請求項1に記載のビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機は、画像を表示する液晶表示画面を有する表示装置と、テレビジョン受信機とビデオテープレコーダとの操作をする操作釦と、所望のビデオテープを挿入するビデオテープ挿入部とを有する装置本体とを備え、前記表示装置と前記装置本体とは分離していることを特徴とする。

【0006】

また、請求項2に記載のビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機は、請求項1に記載のビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機において、前記表示装置は、画像を表示する液晶表示画面と、該液晶表示画面に対して可動であり、所定の箇所を挟んで固定することができるクリップ状の挟止部とを有し、前記装置本体は、テレビジョン受信機とビデオテープレコーダとの操作をする操作釦と、所望のビデオテープを挿入するビデオテープ挿入部と、所定の箇所に掛けて固定することができるL字状の掛止部とを有することを特徴とする。

【0007】

また、請求項3に記載のビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機は、請求項2に記載のビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機において、前記挟止部は、前記液晶表示画面に対して垂直に近い角度とすることでスタンドとして使用することができるものであることを特徴とする。

【0008】

また、請求項4に記載のビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機は、請求項3に記載のビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機において、所定の箇所に掛けて固定することができるL字状の掛止部を有する指向性スピーカを備えることを特徴とする。

【0009】

【発明の実施の形態】

実施の形態1.

以下、図面を用いて、本実施の形態 1 によるビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機について説明する。なお、全図を通じて同様の構成には、同一符号を付与する。

【0010】

図 1 は、本実施の形態 1 によるビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機の使用例を示した図である。図 2 は、本実施の形態 1 によるビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機の表示装置の斜視図である。図 3 は、本実施の形態 1 によるビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機の装置本体の斜視図であり、図 3 (a) は正面斜視図で、図 3 (b) は背面斜視図である。図 4 は、本実施の形態 1 によるビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機の指向性スピーカの斜視図である。図 5 は、本実施の形態 1 によるビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機の表示装置をベッドの柵に取り付けている状態を示す断面図である。図 6 は、本実施の形態 1 によるビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機の装置本体をベッドの柵に取り付けている状態を示す断面図である。図 7 は、本実施の形態 1 によるビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機の指向性スピーカをベッドの柵に取り付けている状態を示す断面図である。

【0011】

まず、本実施の形態 1 によるビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機の構成を図を用いて説明する。1 は表示装置である。2 は装置本体である。3 は指向性スピーカである。4 はベッドである。5 はベッドの柵である。11 は液晶表示画面であり、テレビ放送やビデオの画像を表示する。12 は所定の箇所を挟んで固定する挟止部である。13 は液晶表示画面 11 と挟止部 12 をつなぐ接続部である。14 は表示装置 1 に備え付けのスピーカである。21 は装置本体 2 および指向性スピーカ 3 に備えられていて、テレビジョン受信機とビデオテープレコーダとを操作する操作釦である。22 は装置本体 2 および指向性スピーカ 3 に備えられていて、所定の箇所に掛けて固定する掛止部である。23 はビデオテープを挿入するためのビデオテープ挿入部である。24 は装置本体 2 に備えられた、掛止部 22 を収納するための窪みである。25 は SD カード等の記憶媒体（図示せず）を挿入するための記憶媒体挿入部である。26 は各種端子である。31 は

指向性スピーカ 3 の蝶番であり、指向性スピーカ 3 は蝶番 31 で、折りたたんで、コンパクト化ができる。

【0012】

次に、本実施の形態 1 によるビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機の設置方法を説明する。病院に入院した場合など、ベッド上で寝たきりの状態である。この状態で本実施の形態 1 によるビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機を使用するためには、例えば、図 1 に示すようにベッドに取り付けてある柵 5 に表示装置 1 および装置本体 2 を取り付ける。表示装置 1 の挟止部 12 は、クリップ状になっており、図 5 に示すように柵 5 を挟んで固定することができる。挟止部 12 は柵 5 を挟んで固定されているので、動くことはないが、液晶表示画面 11 は、挟止部 12 に対して接続部 13 で可動になっているので、操作者は、液晶表示画面 11 をベッドに寝た状態で見やすい方向に向くように調節する。装置本体 2 は、掛止部 22 を備えているが、掛止部 22 を使用しないときは、折りたたんで装置本体 2 の窪み 25 に収納してある。図 3 (b) に示すように掛止部 22 を窪み 25 から起こす。掛止部 22 は L 字状であるので、図 6 に示すように掛止部 22 を柵 5 に掛けて装置本体 2 を固定することができる。操作釦 21 は装置本体 2 に備えられているので、装置本体 2 を操作者の手が届く範囲の場所に設置する。指向性スピーカ 3 には、装置本体 2 と同様に背面に掛止部 22 が設けられており、装置本体 2 と同様に掛止部 22 は、折りたたんで収納することが可能である。また、指向性スピーカ 3 は、真ん中から半分に折りたためるように蝶番 31 を備えており、これは、病院で使用するものであるので、レンタルが主体になる可能性が高いために、数多くの台数を収納する必要があるため、真ん中から半分に折りたたむことで収納スペースを減らす目的である。指向性スピーカ 3 は、ある部分のみに音を形成し、他の箇所には音を漏らさない。図 1 に示すように操作者の枕元の柵 5 に、装置本体 2 と同様に L 字状の掛止部 22 を掛けて設置する。表示装置 1、装置本体 2、指向性スピーカ 3 は、電線で接続されて、電源や信号の入出力を行う。

【0013】

次に本実施の形態 1 によるビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機の動



作を説明する。本実施の形態 1 によるビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機を図 1 に示す状態にセッティングする。操作者は、装置本体 2 の操作釦 21 を用いて本実施の形態 1 によるビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機を操作する。操作釦 21 には電源、チャンネル、音量、ビデオ取り出し、ビデオ再生、ビデオ早送り、ビデオ巻き戻し、ビデオ停止等の釦がある。操作者は、操作釦 21 で電源を入れてチャンネルを操作して、見たい番組を選ぶ。操作釦 21 で音量等も調整する。指向性スピーカ 3 から出力される音声は操作者だけにしか聞こえず、音漏れしないので相部屋であっても他人に迷惑を掛けることがない。指向性スピーカ 3 を使わずに、代わりにイヤホンを装置本体 2 につなぎ、該イヤホンで音声を聞くこともできる。

【0014】

ビデオを楽しむ場合には、操作釦 21 のテープ取り出し釦を押すと、装置本体 2 のビデオテープ挿入部 23 の蓋が開く。ビデオテープ挿入部 23 に所望のビデオテープを挿入し前記蓋を閉め、操作釦 21 の再生釦を押せば、ビデオの画像を楽しむことができる。再生以外にも、早送り、巻き戻し、停止等の操作をする。

【0015】

上述した操作釦 21 は、指向性スピーカ 3 にも備えられているので、指向性スピーカ 3 の操作釦 21 を使って操作してもよい。

また、記憶媒体挿入口 25 に SD カードを挿入することで、外部からデータを読み込んだり、端子 26 に、例えば、ゲーム機器とをつないでゲームを楽しむ等、外部機器と連結することもできる。

【0016】

なお、表示装置 1、装置本体 2、指向性スピーカ 3 はそれぞれ、上述した場所以外にも設置することができる。例えば、図 5 に示すように挟止部 12 は略平らな面を有しているので、液晶表示画面 11 に対して垂直に近い角度として、前記略平らな面を水平面に接する状態にすることで、図 2 に示すようにスタンドとなる。所定の箇所を挟まなくても、挟止部 12 を用いて水平面上に表示装置 1 を立てることができるので、従来のテレビジョン受信機と同様に机や台の上に表示装置 1 を立てて画像を楽しむこともできる。同様に、装置本体 2 も所定の箇所に掛

ける必要はなく、台等の上に置いても構わない。指向性スピーカ 3 も所定の箇所に掛けずに枕の下に置くといった方法でも使用できるし、薄型ではあるが、蝶番 31 を折り、角度をつければ、台等の上に立てることも可能である。

【0017】

また、入院している場合に限らず自宅のベッド上でも使用でき、その場合は、音が漏れてもかまわないので、表示装置 1 に備え付けのスピーカ 14 を使えばよく指向性スピーカ 3 を装置本体 2 につないで使用する必要はない。

【0018】

また、操作者がベッド上に寝ている場合だけに限られるわけではなく、それ以外の場合でも、あまりスペースがない場合でもどこか挟める箇所や掛ける箇所があれば使用でき、また、挟んだり掛けたりせずに使用することもできる。

【0019】

また、ビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機の液晶表示装置以外にも例えば、ゲーム機やパソコン等の液晶表示装置に、クリップ状の挟止部を備えるようにしてもよい。

【0020】

このように、本実施の形態 1 によるビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機によれば、画像を表示する液晶表示画面を有する表示装置と、テレビジョン受信機とビデオテープレコーダとの操作をする操作釦と、所望のビデオテープを挿入するビデオテープ挿入部とを有する装置本体とを備え、前記表示装置と前記装置本体とは分離しているので、見やすさを考えて液晶表示画面は操作者から離れた位置に置き、前記操作釦を備えた前記装置本体を操作者の近くに置くことができるので、見やすく操作がしやすく、場所をとらない。

【0021】

また、前記表示装置は、前記液晶表示画面に対して可動であり所定の箇所に挟んで固定することができるクリップ状の挟止部を有し、前記装置本体は、所定の箇所に掛けて固定することができる L 字状の係止部とを有しているので、それぞれ、ベッドの柵もしくはそれ以外の箇所に取り付けることができ、スペースをとらずに設置することができるという効果を有する。

【 0 0 2 2 】

また、前記挟止部は略平らな面を有しているので、液晶表示画面に対して前記挟止部を垂直に近い角度として、前記略平らな面を水平面に接する状態にすることで、スタンドとして使用することができるので、前記表示装置は、水平面上に立てて設置することもできるので、挟む箇所がない場合でも設置することができるという効果を有する。

【 0 0 2 3 】

また、指向性スピーカを備えているので、音漏れがせずに病室などでも他人に迷惑をかけずに音声を楽しむことができる。

【 0 0 2 4 】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明の請求項 1 に記載のビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機によれば、画像を表示する液晶表示画面を有する表示装置と、テレビジョン受信機とビデオテープレコーダとの操作をする操作釦と、所望のビデオテープを挿入するビデオテープ挿入部とを有する装置本体とを備え、前記表示装置と前記装置本体とは分離していることとしたので、前記表示装置と前記装置本体とを離れた位置に設置することができ、画像が見やすいように前記表示装置は離れた位置に設置し、操作がしやすいように操作釦を備えた装置本体を手元に設置することができ、使いやすく場所も取らないという効果がある。

【 0 0 2 5 】

また、本発明の請求項 2 に記載のビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機によれば、請求項 1 に記載のビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機において、前記表示装置は、画像を表示する液晶表示画面と、該液晶表示画面に対して可動であり、所定の箇所を挟んで固定することができるクリップ状の挟止部とを有し、前記装置本体は、テレビジョン受信機とビデオテープレコーダとの操作をする操作釦と、所望のビデオテープを挿入するビデオテープ挿入部と、所定の箇所に掛けて固定することができる L 字状の掛止部とを有することとしたので、前記表示装置は、前記挟止部で挟むことができる箇所であればどこでも設置することができ、操作者が見やすい方向に前記液晶表示画面を向けることができる

ため、スペースを取らずに設置でき、どこに設置しても画像が見やすいという効果を有する。また、前記装置本体は、前記掛止部を掛けることができる場所であれば、どこでも設置することができ、スペースをとらずに、前記表示装置の設置場所と離れた位置にも設置できるという効果を有する。

【0026】

また、本発明の請求項3に記載のビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機によれば、請求項2に記載のビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機において、前記挟止部は、前記液晶表示画面に対して垂直に近い角度とすることでスタンドとして使用することができるものであることとしたので、前記表示装置は、所定の箇所を前記挟止部で挟んで固定するだけでなく、台や机の上などの水平面上に立てて使用することもできるという効果を有する。

【0027】

また、本発明の請求項4に記載のビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機によれば、請求項3に記載のビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機において、所定の箇所に掛けて固定することができるL字状の掛止部を有する指向性スピーカを備えることとしたので、音漏れがせずに病室などでも他人に迷惑をかけずにビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機の音声を楽しむことができるという効果を有する。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本実施の形態1によるビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機の使用例を示した図である。

【図2】

本実施の形態1によるビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機の表示装置の斜視図である。

【図3】

本実施の形態1によるビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機の装置本体の斜視図である。

【図4】



本実施の形態 1 によるビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機の指向性スピーカの斜視図である。

【図 5】

本実施の形態 1 によるビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機の表示装置をベッドの柵に取り付けている状態を示す断面図である。

【図 6】

本実施の形態 1 によるビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機の装置本体をベッドの柵に取り付けている状態を示す断面図である。

【図 7】

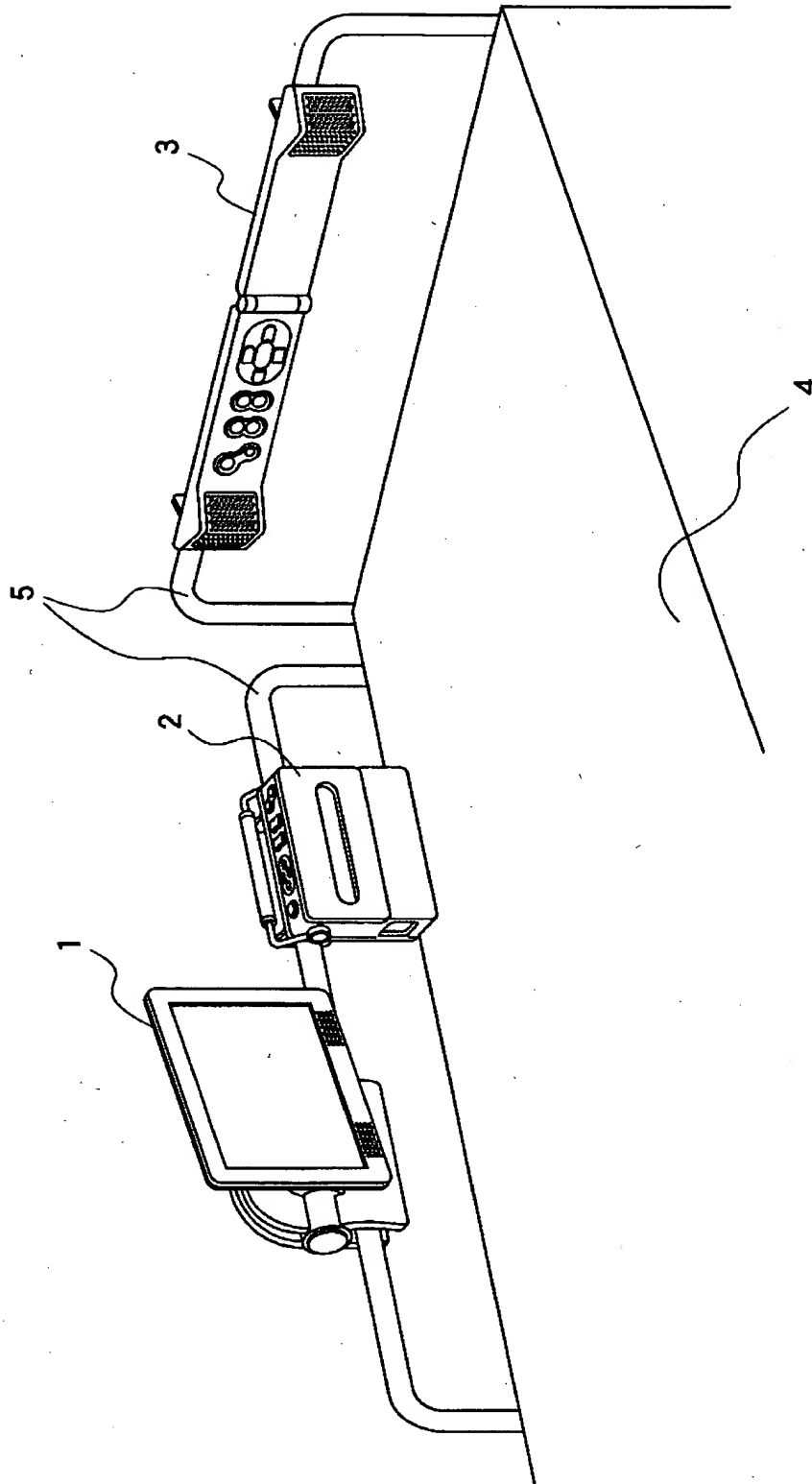
本実施の形態 1 によるビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機の指向性スピーカをベッドの柵に取り付けている状態を示す断面図である。

【符号の説明】

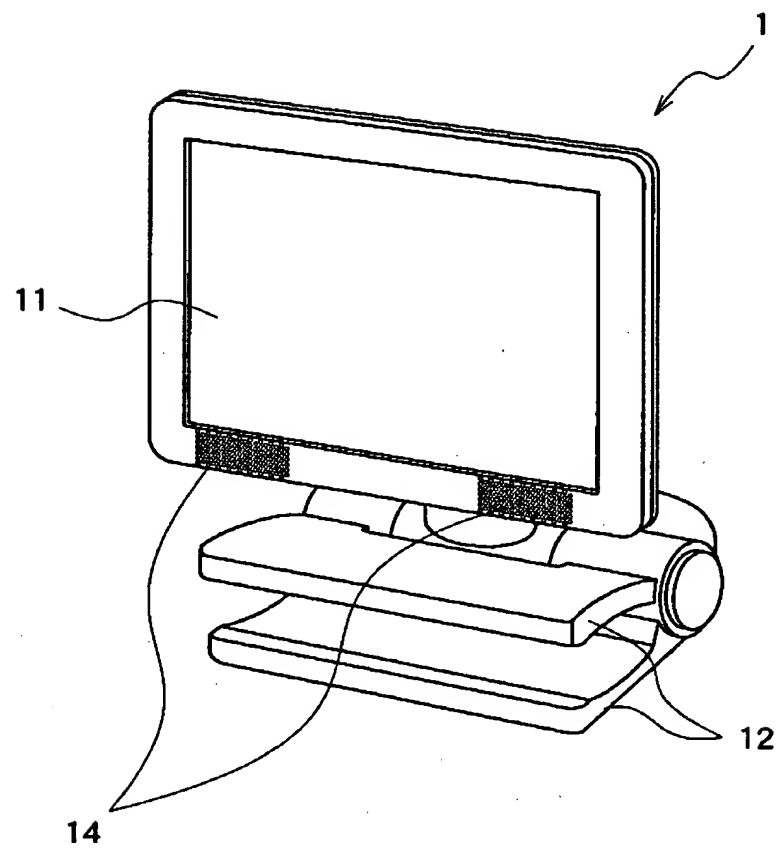
- | | |
|-----|-----------|
| 1 | 表示装置 |
| 2 | 装置本体 |
| 3 | 指向性スピーカ |
| 4 | ベッド |
| 5 | 柵 |
| 1 1 | 液晶表示画面 |
| 1 2 | 挟止部 |
| 1 3 | 接続部 |
| 1 4 | スピーカ |
| 2 1 | 操作釦 |
| 2 2 | 掛止部 |
| 2 3 | ビデオテープ挿入部 |
| 2 4 | 窪み |
| 2 5 | 記憶媒体挿入部 |
| 2 6 | 端子 |
| 3 1 | 蝶番 |

【書類名】 図面

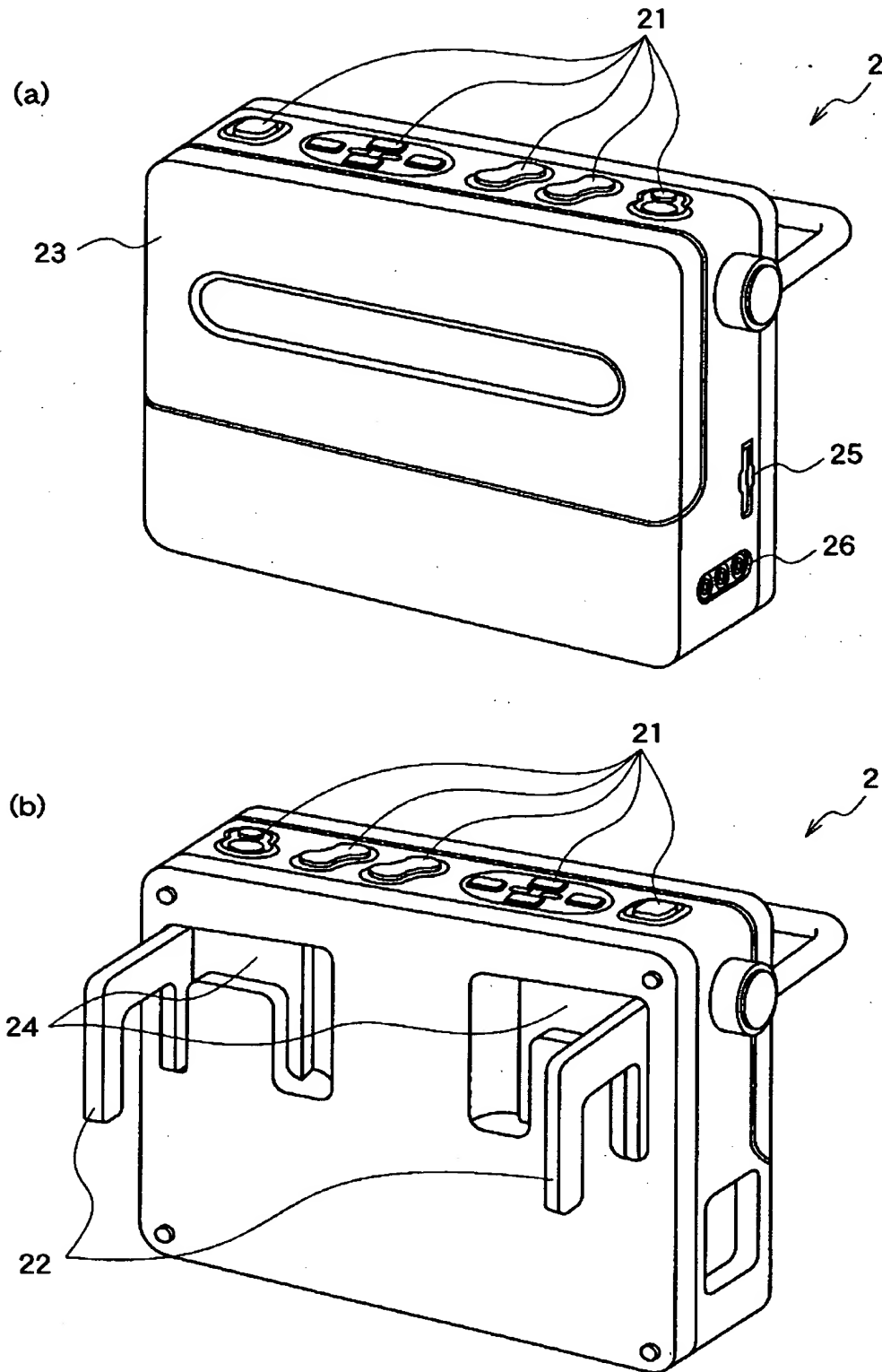
【図 1】



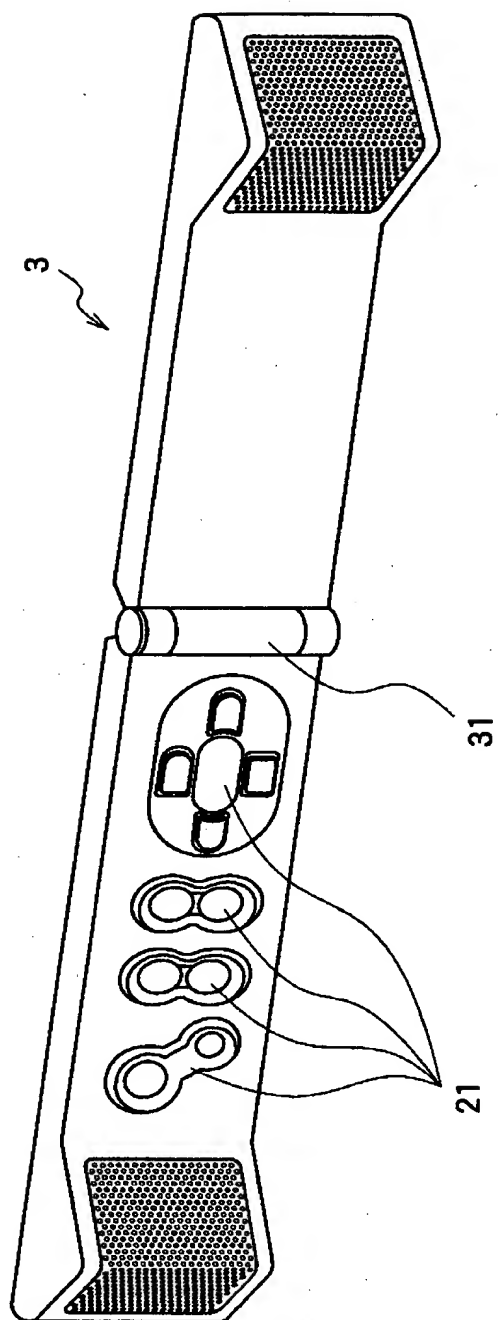
【図 2】



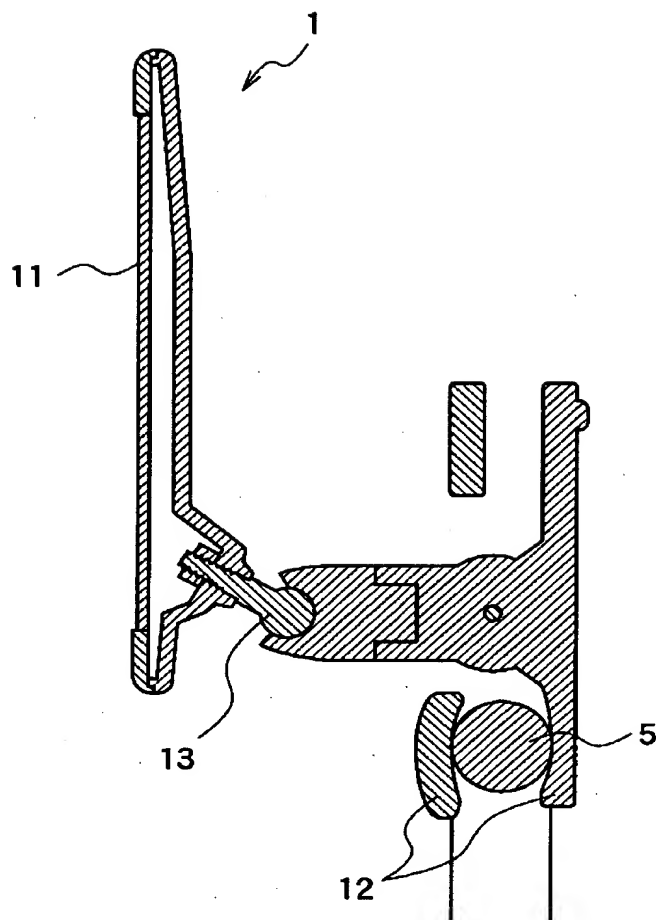
【図 3】



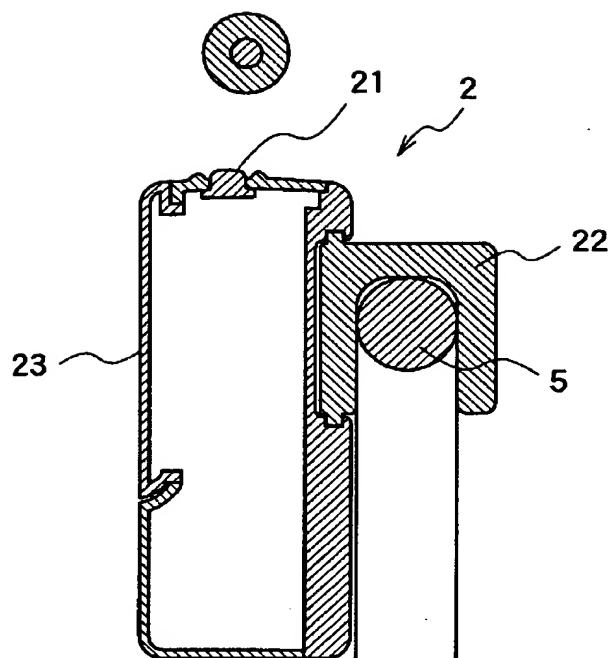
【図 4】



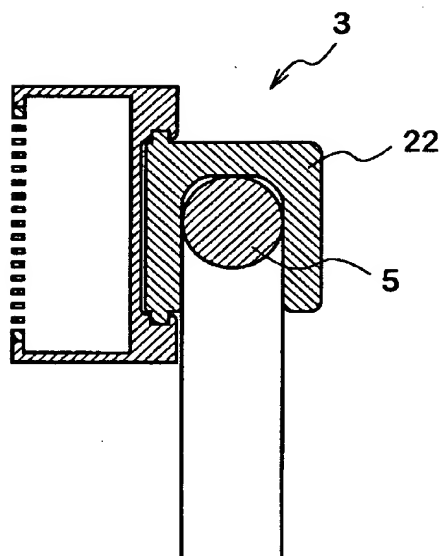
【図 5】



【図 6】



【図 7】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 場所を取らずに、病室のベッドなどに容易に取り付けることができ、操作性がよいビデオテープレコーダ付きテレビジョン受信機を提供する。

【解決手段】 画像を表示する液晶表示画面を有する表示装置と、テレビジョン受信機とビデオテープレコーダとを操作する操作釦とビデオテープ挿入部とを有する装置本体とを備え、前記表示装置と前記装置本体とは分離し、前記表示装置は、画像を表示する液晶表示画面と、該液晶表示画面に対して可動であり、所定の場所を挟んで固定することができるクリップ状の挟止部とを有し、前記装置本体は、テレビジョン受信機とビデオテープレコーダとの操作釦と、ビデオテープ挿入部と、所定の場所に掛けて固定することができるL字状の掛止部とを有することを特徴とする。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005821]

1. 変更年月日 1990年 8月28日
[変更理由] 新規登録
住 所 大阪府門真市大字門真1006番地
氏 名 松下電器産業株式会社